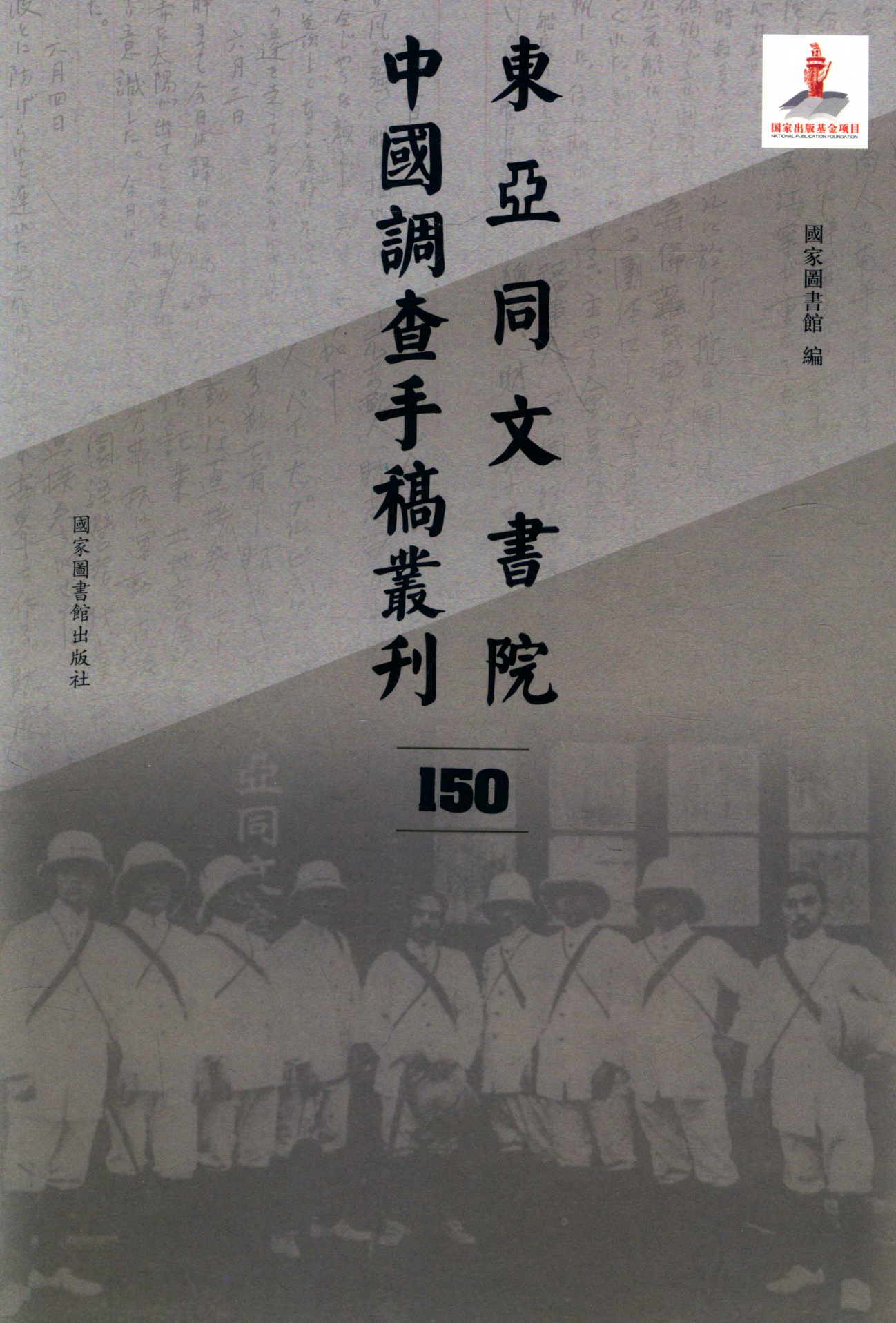


國家圖書館編

# 東亞同文書院 中國調查手稿叢刊

150

國家圖書館出版社





國家圖書館編

東亞同文書院  
中國調查手稿叢刊

150

國家圖書館出版社

# 第一五〇冊目錄

昭和九年(一九三四)調查報告(第三十一期生)

吉林省農安縣調查

吉林省農安縣調查 德野外志男

第十五卷第一編

..... 一

吉林省扶餘縣調查

吉林省扶餘縣調查 津田一男

第十五卷第二編

..... 一三三

奉天省新民縣彰武縣調查

奉天省新民縣彰武縣調查 下村明信

中山昌生

稻富正男

第十六卷

..... 二二三

奉天省開通縣事情調查

奉天省開通縣事情調查 黑田正明

磯川武夫

第十七卷第一編

..... 三五九

奉天省瞻榆縣事情調查

奉天省瞻榆縣事情調查

黑田正明 磯川武夫

第十七卷第二編……………四五一

奉天省突泉縣事情調查

奉天省突泉縣事情調查

黑田正明 磯川武夫

第十七卷第三編……………五〇五

奉天省鎮東縣調查

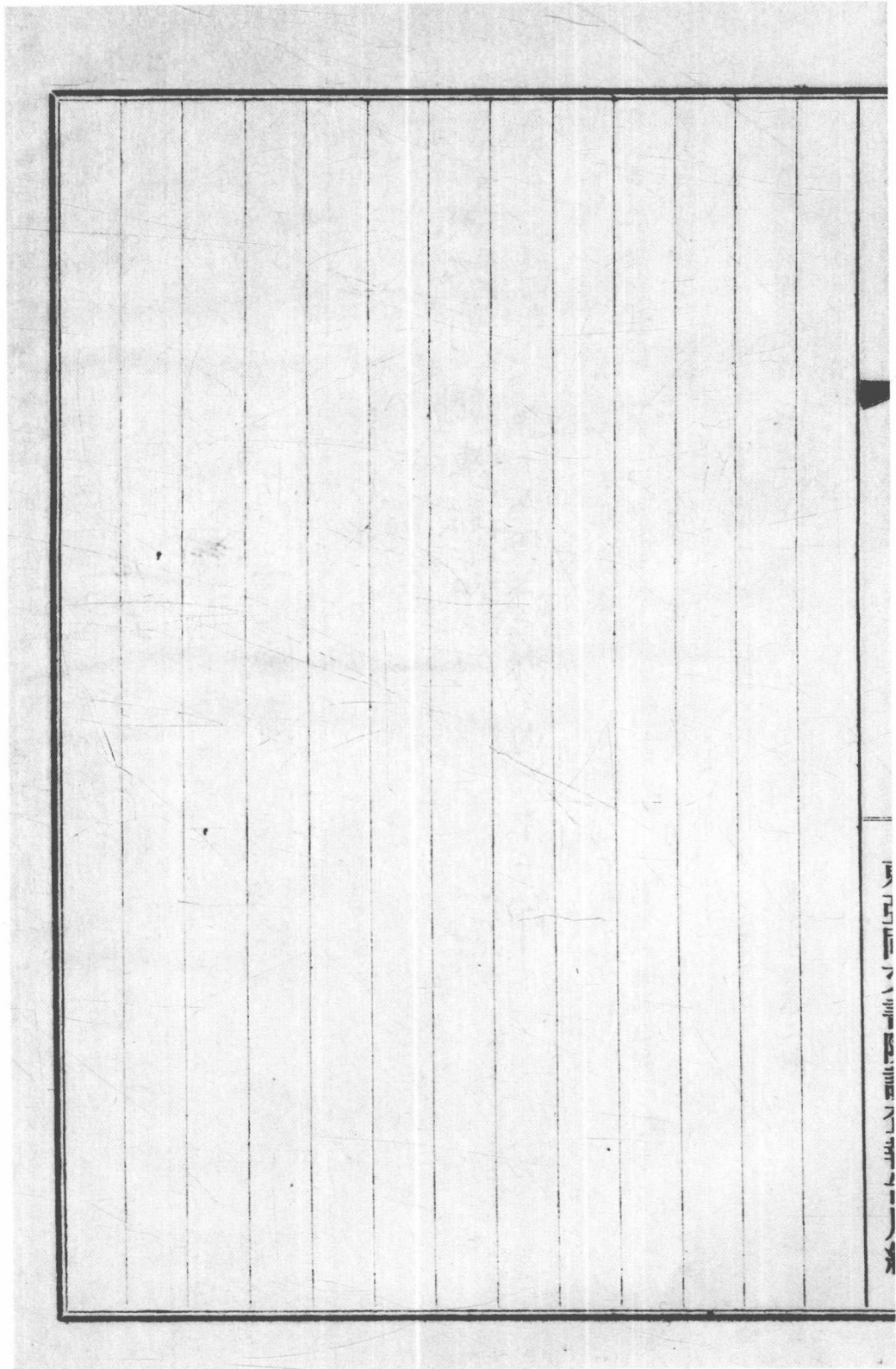
奉天省鎮東縣調查

河原畑一美 羽立實夫

第十八卷……………五七一

大旅行調查報告

第十五班(二部、內)第一節



第十五班農安扶餘縣調查報告書

一、農安縣調查報告

担当者 德野外志男

目次

第一章 序

第二章 沿革

第三章 位置及地勢

第四章 氣候

第五章 交通

~~道路~~

~~交通機關~~

~~國幣~~

~~交通信~~

第六章 農牧業

1. 一般農牧業

2. 農安縣縣水田

3. 農安縣縣義倉

4. 牧畜

5. 農民民福

第七章 人口

第八章 教育

第九章 厚生

~~衛生~~

① 風土病

② 痘毒傳染



~~米糧情勢~~

~~糧價漲跌~~

~~(1) 糧食不足~~

~~救濟~~

第十章

社會惡(生活樣式及物價)

~~住居本樣式~~

~~採暖費用~~

~~物價~~

第十一章

商業

1. 商業

(1) 農民市場 / 今日

(2) 日本人活動狀況

2. 工業

高士素者

吹湯

第十二章 通債及金融

通債

金融機關

第十三章 縣城

第十四章 新火線扶餘縣建設卜郭爾羅斯前旗概況報告(省調)

附記

旗

郭爾羅斯前旗之關スル調查報告

昭和九年度第三十期生第二十八回調查報告書

第十五卷 吉林省農安縣扶餘縣調查班

五海東亞  
文書院  
圖書印

第一編 吉林省農安縣調查

第一章 序

農安地、京畿ノ沃野一百里、交通ノ便ヨリ其地ノ利  
 ヲ得ルナラバ、天府ノ富ノ集散ノ要地トシテ繁榮スヘキ  
 位置ニアリシモ、惜ニイ、故軍閥棟梁シ、張一家ノ權勢ヲ  
 恣ニセシ頃、利ハ地ニ棄テラレ、財政敎正ハス、百業凋ヒ、民又  
 安心シテ生活スル事出表ス、苗荏時ヲ曠フスル事數年十  
 リキ、時恰モ一九三一年九月十八日、此ノ歴史上特筆大書  
 スベキ滿洲事變ハ、曉ヲ破ツテ立昇ル朝日ノ如ク、東亞  
 ノ天地ニ王道國家ノ基礎トナツタ。幸ニ滿洲國ハ外日  
 本ノ援助ト、内民ノ渴仰ニヨツテ、溥儀執政皇帝ニ推  
 戴サレ、ソノ國勢ヤ實ニ旭日昇天ノ概アリ、赤イ夕陽ノ滿  
 洲ハ今ヤ昔日ノ影ヲスク百ノ廢事モ日ニ興ル様ニナレリ。  
 農安又新皇帝ノ光綏ノ及ブ所ニ在リ、樓臺水ニ臨ミ

五海東亞圖書印

月獨り光ヲ得タ如ク、各種ノ政治モソノ緒ニツク、今後善導シ民ノ歸スル所ニ向ハシムルハ前途洋々、得未

王道樂土モ期ニテ待ツ可キモノアリ。

仍テ農安全縣ヲ通ジテ已ニ開墾セサレシ土地ハ調査ノ

結果ニヨリ、約四十九万八千餘垧、其中租稅ヲ納メテ居ル

土地ハ三十三万六千餘垧、而シテ肥沃ナル土地ヲ租稅ノ極

メテ輕キモノアリ、瘠セテ反ツテ田賦ノ重キモノアリ。カク權

利義務均等ナラス、苦樂又懸心隔、甚ニキヲ知ル。六宜

シク積極的ニ整理シ、一時タリトモ猶豫シテハナラナイ。荒地

十三万餘垧ハ偏地ニアリテ、人民之ヲ廢地トナシ、永遠ニ開

墾スルヲ肯シナイ有様ナリ。此等荒地ノ大半ハ松花江畔

ニアリ、沼澤ノ濱ニシテ、水草ノ豊富ナル地ハ自然ノ牧場ト

シテ好適、灌溉ノ便利ナル地ハ肥沃ナ稻田トスル事カ出来ル。

之レヲ整理セシカ利國裕民ノ資忽チニ起ラン。

農民ハ耕作方法ニ於テモ舊式ヲ墨守シ、其ノ能率タルヤ、何等見ル可キモノナキニシカ、年中働キ而モ往々ニテ一家ヲ支ヘ切レ又者モアリ、ソノ頑愚ナル者ハ、天然ノカラ籍ルヲ知リテ人カラ用ヒズ、蝗ヲ除キ螟ヲ除キテ災害ヲ豫防シテイ。又人アリ水ヲ引キテ堀トナスモ、ソノ利又普及セズ、甘雨アリテ旱魃ノ豊作トナラニ事ヲ疑フガ如キ、改良スベキ所故學ニ違アラス。故ニ官ニ在ル者監督ノ任ニ在ル者之等ヲ改良、良導スルニ最新ノ方法ヲ以テセバ、農作物モ從ツテ豊富トナリ、所謂勞半ハニテ効倍スルノ現象ヲ示サン。

農安ノ水草豊富ハ天然デアアル。放牧ノ之ヲ専門ニ試ムル者少カテザルニ、家畜ノ性ヲ知ラス、ソノ養牧ノ法明ナラザ

ル故ニ殆ニト失敗ニ歸シテ于ル。人民ガ之ノ牧畜業ニ畏ラ  
抱キ肯ヘテ為サウトハシナイ所以デアアル。農家一般ノ家畜  
ハ牛、馬、騾、驢ニ耕作ニ使用スルノミテ專業ニ營モ分  
ナイ。又自然心ノ変化ニ從ツテ決シテ防疫ノ辨<sub>法</sub>ヲ請シテイ故  
ニ、一旦傳染病ガ發生スレバ、倒シテ死スル物累々トシテ道ニ滿  
ツルモ、之ヲ見テ疫神ノ御光臨トナシ運ヲ天ニ任スノミナリ。  
農安ノ不作地ハ十餘万垧ノ多キニ亘リ、空地附近ノ無用ノ土  
地ハ入ツチキナイ。此等ノ地ト雖モ無用ヲ有用ニ化シ得ルモアル。  
農安ノ土質ハ調査ニヨリハ、植林ニ、特ニ多種類ノ樹木ニ  
適スルハデアアル。此ノ植林ニ就キテモ監督宜シキ得<sub>ル</sub>ナラハ  
十年、ニ十年後怡目シテ見ルヲキモガアラウ。  
農安ノ工業ハ舊式ノカニ依ル手工業ノ範圍ヲ出ス品  
質劣惡、價格又高ク、ソノ周用品ハ販賣スル事出来ス。又

購入シテ使用セントスル本縣人モ居ナイ、狀態ナリ。若シ積極的ニ近代ノ工業ニ追從セバ、一瀉千里ノ勢カニテ變化シテ行カン。

交通ハ未ダ整理サレズ、道路凹凸劇シク、夏ニ入レバ雨水甚クシク泥濘<sup>牌</sup>膝ヲ没スル有様、車馬行程十里ニ及ハズ、往來塞グレ、運輸モ停止シ、行旅ハ之レガ爲ニ苦ニシ、特ニ商人ノ損害ヲ受クル事ガ甚クシイ。故ニ現在、鐵道建設中ニシテ、電信電話モ増設中ニテ、交通ノ進歩又目覺キキモアリ。

水運ニ関シテハ松花江岸、八里營子、青山子、紅石礮等ハ行旅ノ爲ニ貨物ノ積卸、乘降ノ埠頭トモナルガ、若シ伊通河、夏期水ヲ増サバ、農安―新京間、帆船ガ航行シ得ル。早夫トナリテ水量減ゼバ、帆船發瀕ニ乗上ク可ク

通行モ阻害サレシ。水利ノ計畫モ蓋シ深慮ヲ煩ス問題ノ  
ダラウ。

衛生ノ道ハ健康ニ關シ、實生活上重且ワ大ナル。農安ヲ  
有識者外衛生ノ何物タルヲ知ラズ、三伏ノ候ニナレバ、臭肉ガ  
攤ノ上ニ、腐リ瓜ガ道路上ニ横ハリテ溝ヲ塞ギ臭氣鼻ヲ  
撲ク糞臭ガ堆積シテ、巷中皆是レナル状況ナリ。新國家以  
來衛生ヲ重スル為市場ニモ稍清潔サカ見え、郷間又  
影響ヲ受ケ開化又顯著ナリ。市内ニハ病院少クシテ一  
切完備スル事ナク、藥品又多ク缺除シテキル。一旦災疾發  
生セバ、只手ヲ束ネ斃ルヲ待ツニシテアル。

農安ノ教育又十分デナク、現在小學校各校恢復シタトハ  
イハ、並度ノ猶遠ク、財政ノ餘裕ト相俟ツテ充實ヲ計  
ル可キナリ。



鑛産ニ就キテハ精確ナルソノ証據ナク又之ヲ營ムモノガ  
 居ナイ。宗教ハ佛教及回々教徒アリ。佛教其中最も多  
 1。信者ノ居住スルハ城内ニ過スミテミカモ一少部分ニ限ラ  
 テ居ル。後述セントスル農安ハ清朝以來土地開放  
 ヲヨリテ歴史ノ殻ヲ脱シ、近クハ北南滿洲鉄道開通  
 ニヨリ順調ヲ發達ヲ来シ、且ツ極ム最近ハ文明ノ先驅者  
 鉄道ノ洗禮ヲ待タズ一足飛ビニ現代交通機關ノ體  
 見自動車ノ迅速ヲ開通ニ見舞ハレ、ソニテ國都ノ北  
 後地トシテ滿洲建國トイフ新イ歴史上ニテヒニー  
 シタ農安デアアル。

### 第二章沿革

紀元前三世紀頃扶餘族ニヨリテ此ノ地方ニ一國家ガ形成  
 セラレ、今ノ農安ハ其扶餘府ガ置カレテチタデアアル。